

## 5.自宅や出張先から フルテキストへ



ご自宅や出張先などキャンパス外にいるときに、大阪大学が契約している電子ジャーナルやデータベースなどを利用する方法をご説明します。

# キャンパス内とキャンパス外の違い

## キャンパス内

研究室 / サイバーメディアセンター / 図書館等のPC を使っているとき  
大阪大学のWi-Fi (odins-1x) に接続しているとき

→ここまで説明した操作方法でOK

## キャンパス外

ご自宅や出張先にいるとき

→フルテキストを手に入れる場合、**別途操作が必要**

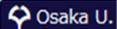
31

キャンパス内とは、たとえば研究室、サイバーメディアセンター、図書館にあるパソコンを使っている場合です。  
また、ご自分のパソコンやタブレットを、大阪大学のWi-Fi (odins-1x) に接続している場合です。  
キャンパス内のときは、ここまで説明した操作方法でOKです。

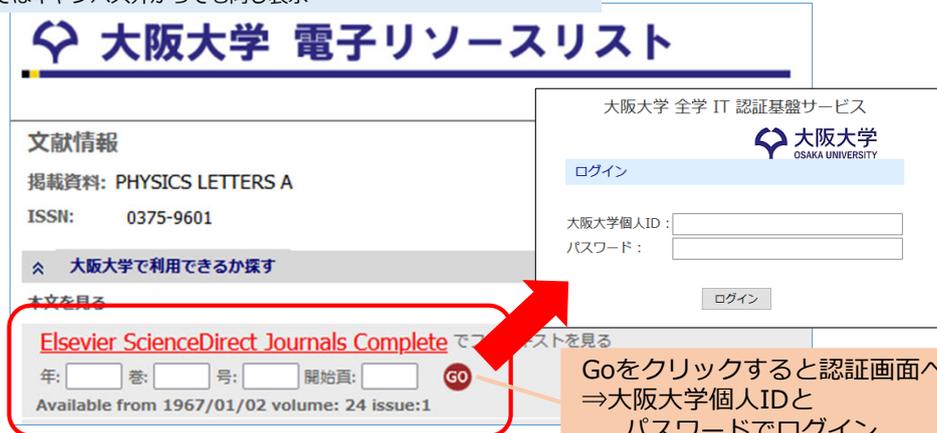
電子ジャーナルなどの出版社は、IPアドレスというものを確認して、契約しているかどうかを判断しています。  
キャンパス内からアクセスしたときは、このIPアドレスが大阪大学のものだと分かるため、契約している電子ジャーナルやデータベースを利用できます。

この環境以外、例えばご自宅や出張先などからフルテキストを手に入れたい、という場合には、別途操作が必要です。  
いちょうマークのアイコンを表示させたり、阪大が契約しているデータベースを使ったりするためには認証手続きがいります。

# キャンパス外：OPACから①

蔵書検索（OPAC）⇒ いちようマーク  の画面

※ここまではキャンパス外からでも同じ表示



大阪大学 電子リソースリスト

文献情報  
掲載資料: PHYSICS LETTERS A  
ISSN: 0375-9601

大阪大学で利用できるか探す

本文を見る

Elsevier ScienceDirect Journals Complete でフルテキストを見る

年:  巻:  号:  開始頁:  GO

Available from 1967/01/02 volume: 24 issue:1

大阪大学 全学 IT 認証基盤サービス

大阪大学  
OSAKA UNIVERSITY

ログイン

大阪大学個人ID:

パスワード:

ログイン

Goをクリックすると認証画面へ  
⇒大阪大学個人IDと  
パスワードでログイン

32

まず、蔵書検索（OPAC）から電子ジャーナルのフルテキストにアクセスするときです。

このスライドは、OPACの詳細画面にあるいちようマークのアイコンを押したあと、「電子リソースリスト」の画面が開いたところです。

ここでキャンパス内にいるときと同じように「GO」のアイコンをクリックすると、認証画面が表示されます。

みなさんがKOANにログインするときに使う大阪大学個人IDとパスワードを入力してログインしてください。

うまくログインできれば、キャンパス内と同じように電子ジャーナルを使うことができます。

## キャンパス外：OPACから②

注意：キャンパス外からはアクセスできないタイトルもある

大阪大学 電子リソースリスト

文献情報  
掲載資料: ANNUAL REVIEW OF GENETICS  
ISSN: 0066-4197

大阪大学で利用できるか探す

本文を見る

Annual Reviews でフルテキストを見る

年:  巻:  号:  開始頁:  GO

Available from 1967 until 2015  
Available from 2018

豊中・吹田キャンパス限定 Toyonaka and Suita Campus Only

豊中・吹田キャンパスのネットワーク  
(Wi-Fi不可) からアクセス可能

33

キャンパス外からのアクセスについて、一点だけ注意点があります。一部のタイトルについて、いちようマークのアイコンをクリックした後、「電子リソースリスト」に「〇〇キャンパス限定」というメッセージが表示されることがあります。

このスライドの例では「豊中・吹田キャンパス限定」と書かれていますね。

こちらは電子ジャーナルの契約条件にもとづき、アクセス制限のあるタイトルです。

キャンパス外からのアクセスはできませんので、記載のキャンパスに来てアクセス（Wi-Fiからは不可）してください。

# キャンパス外：論文データベースから

論文データベースを**使い始めるときに**阪大在籍者の認証を行う



図書館webサイト「[キャンパス外から電子リソースを使う](#)」をクリック

→**阪大個人ID・パスワード**で認証

これでキャンパス外からもデータベースが利用可能、いちょうマーク  も表示

※Google Scholarではキャンパス外からの認証のしくみは利用不可

次に、論文データベースを使うときについて説明します。  
一部の論文データベースは、キャンパス外からも使うことができます。

学外からデータベースを使う時は、図書館Webサイトトップページの検索窓の一番下にある「キャンパス外から電子リソースを使う」をクリックします。  
すると、キャンパス外から使えるデータベースの一覧が表示されます。  
この中から使いたいデータベースを選んでクリックすると、阪大個人IDとパスワードを使ってログインする画面が表示されます。

これでキャンパス外からも、データベースの検索結果にいちょうマークのアイコンが表示されます。  
先ほど説明した通り、いちょうマークのアイコンをクリックすると電子ジャーナルが使えるかどうか分かります。

# キャンパス外：GakuNinを使う

## 学術認証フェデレーション(GakuNin)

電子リソースを利用する大学、電子リソースを提供する機関・出版社等から構成された連合体（フェデレーション）

阪大個人IDとパスワードで認証が可能

電子リソースのほか、NII FileSender（ファイル共有システム）、しぼすけ（スケジュール調整ツール）なども利用可能

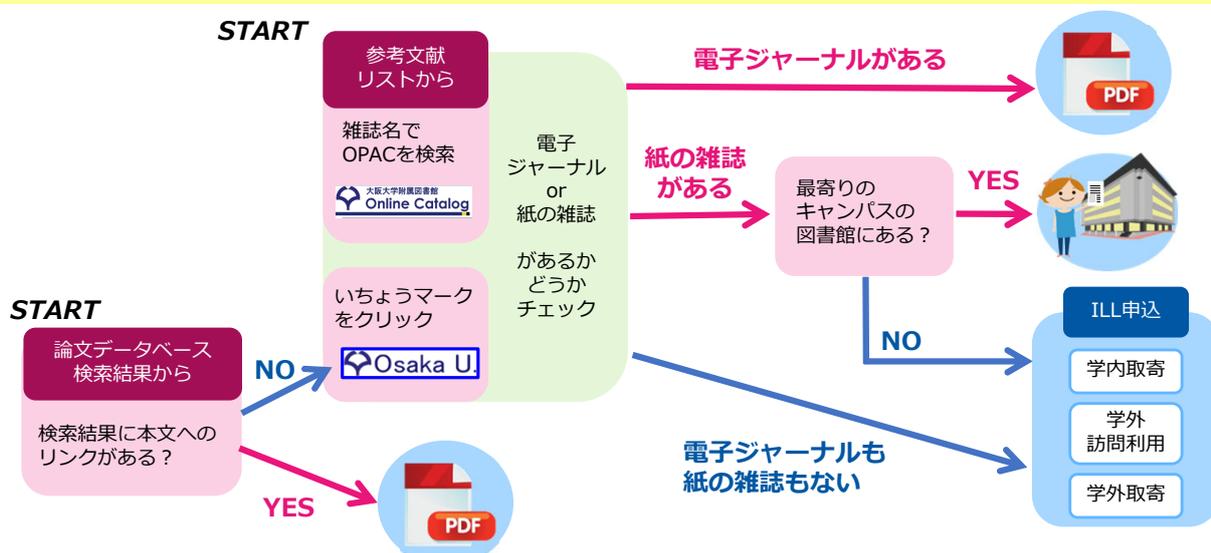
もうひとつ、学外からの認証方式には学認という仕組みもあります。こちらは図書館ではなくて学内の別の部署、情報推進部が担当となっています。電子ジャーナルやデータベース以外のサービスとも連携をしています。

# まとめ



最後に、本教材のまとめです。

# フルテキスト入手法



37

ここまで、論文フルテキストの入手方法を見てきました。説明した内容を図にするとこのような形です。入手の選択肢についてご理解いただけたでしょうか。

基本的には、

1. 電子ジャーナルをダウンロード
2. 阪大で所蔵している紙の雑誌をコピー
3. ILLサービス

の順番に入手方法を考える、という段取りです。

# ご相談ください

総合図書館B棟2F 参考調査カウンター

[https://www.library.osaka-u.ac.jp/research/reference\\_desk/](https://www.library.osaka-u.ac.jp/research/reference_desk/)

職員がお待ちしています

平日9:00-17:00（事前予約不要）

オンラインやメールでの相談も受け付けます

- 適切なデータベースの選択
- それぞれのデータベースの使い方
- 検索式やキーワードの検討 など



38

実際にフルテキストを探すときに操作方法がよく分からないとか、参考文献リストの読み取りがよく分からないなど、疑問点がありましたら遠慮なく総合図書館参考調査カウンターへお尋ねください。

カウンターは平日の9時から17時まで開いています。

また、メールやオンラインでの相談も受け付けています。